

■■■ 北海道 CT 遠友 ser 会 mail ◆ No. 4 ◆ 2013/6/28

■■■

■ 北海道 CT 遠友 ser 会

■■■ <http://enyouser.umin.jp/> □

■■■

■ ■■■ □ □ ■ ■ ■■■ ■

■■■ ■ ■ □ □ ■■ ■ ■ ■

■■■ ■ ■ □□□ ■ ■ ■■ ■ ■

■□ CONTENTS □■

- (1) 【北海道大学病院 New CT 稼働レポート】
 - (2) 【営業マンレポート第 3 弾】
 - (3) 【CT アプリ紹介】
 - (4) 【連載 東芝 CT アプリからのワンポイントアドバイス Part2】
 - (5) 【お知らせ】
 - (6) 【編集後記】
-

※このメールは等幅フォントでご覧ください。

●.....●

(1) 北海道大学病院 New CT 稼働報告

今年の 4 月、横浜で開催された ITEM2013（国際医用画像総合展）で初めて公開しました東芝の最新 CT 装置 New Aquilion PRIME。

実は、この New PRIME 国内一号機が、お披露目されるよりも早い今年の 3 月初め、北海道大学病院で稼働していたんです。

今回、全国に先駆けて導入された新型 CT 装置の使用経験を、この会の代表世話人でもある北海道大学病院の笹木氏に報告してもらいました。

◆北海道大学病院での New PRIME 稼働状況 国立大学法人 北海道大学病院 笹木 工

2013 年 3 月より、従来のデザイン・性能を一新した New Aquilion PRIME が当院の第 4CT 室で稼働を開始した（図 1）。New PRIME には、BeyondEdition と Focus Edition2 つのラインナップがあるが、以後は当院に導入された Aquilion PRIME Beyond Edition（以下、PRIME）について、稼働状況をお伝えする。

第一印象は「ちっちゃ！」の一言。とにかく小さい。東芝製 CT との付き合いは Single DAS Aquilion からで、X シリーズの装置を拝見したことがあるが、操作をしたことがない。4DAS、つぎに 64DAS、2012 年 7 月に導入された Aquilion ONE ViSION Edition（以下、ViSION）を使用し、東芝製 CT はこういうモノ（大きさ、形、性能、使い勝手、X 線管やソフトのクセ、などなど...）という固定観念が自分の中に出て上がっていた。しかし PRIME は、大きさや形の概念を覆す製品である。最小設置面積が 14.8m² と言うだけあって、ガントリーは薄くて小さい（図 2）。

肝臓移植を行っている施設であるためか、必然的に肝臓 dynamic 撮影を行う機会が多い。この検査を受けられる方々は、定期的に経過観察する必要があるため CT 検査をする回数も多くなる。検査を受ける立場として装置に触れる機会が増え、装置がかわると「新しくなりましたね」とか、「これは、マルイですね」など、よく観察していることがわかる。ある日、検査室に入るや開口一番「小っちゃいな～、これ」と言われた方がいらした。小さくて不安があったかもしれない。そう思わせるくらい小さい装置である。外観は小さくなったが、できることは以前使用していた Aquilion 64 よりも多い。心電図同期撮影、チルトヘリカル、軌道同期撮影、加えて寝台の横方向の移動ができ、Dual Energy が取得できるようになった。寝台往復による Helical 撮影（Dynamic Helical という）にも対応した（図 3）。もちろん AIDR3D による被ばく低減技術も搭載されている。

ガントリーに設けられたタッチパネルには、音声アナウンスの言語や種類の選択ができ、検査を受けられる方と対話しながら操作ができる。また Head First、Feet First 問わず、ガントリー内部に見やすい位置にガイドが設置された（図 4）。

寝台をガントリー内部に移動するボタンスイッチの移動方向は、従来機種（ViSION も含む）と逆になり、ガントリー内部に近い側のボタンスイッチを押すと寝台が内部に移動するように変更された。より直感的な操作ができるようになった。アプリケーションの方々の意見を参考に変更されたとのことで、現場の意見が製品に反映された形になっている。

780mm の開口径と寝台の横移動は思っていた以上に恩恵が大きい。特に高齢者で腕があまり上がらない方の場合でも、比較的楽な姿勢で検査を試行できる。寝台の横移動は左右に 42mm であるが、若い女性や外傷例など、あまり触って整位できないような場合に横移動したままの Helical 撮影が可能であるため、その威力を発揮する。

当院における PRIME の運用方法は、頭部 CT、肝・膵・腎の dynamic、悪性腫瘍の転移検索、歯学部用撮影を行っている。平均的な検査数は約 40 件で、担当者は 1 名である。前述した ViSION が稼働している状態での PRIME 導入であるために、未だ心電図同期撮影の機会を得ていないが、Aquilion64 で心臓 CT を行っていた過去と PRIME の性能を考え合わせると十分に対応可能であると考えられる。Dual Energy を利用した撮影の機会はまだまだないが、今後のソフトの開発に期待しつつ、物質弁別や人工関節等の撮影に応用したいと考えている。

文末になりましたが、東芝メディカルシステムズの皆様方へのお願いです。きっと次世代の Standard となる装置だと思えます。それ故、Application 等の開発・対応は今以上に迅速でなければなりません。期待しています。

・・・全文（写真入り）をご覧頂く場合は、こちらよりご覧ください。

http://enyouser.umin.jp/_src/sc596/NewPRIME_HU_report.pdf

●.....●

(2) 営業マンレポート No. 5

★織田 康彦（おだ やすひこ） 担当エリア： 札幌市内（手稲区他）小樽後志
・苫小牧方面

【 担当営業から 】

入社 19 年目の織田と申します。実は入社以来勤務先は札幌一筋、一度も転勤を経験しておりません。会社でも天然記念物の称号を頂いており、毎年 3 月には人事発令に怯えている今日この頃です。趣味は 3 年前からマラソンを始めており、最初は健康維持の為に軽い気持ちで始めましたが、思いのほか長続きしております。お陰でマラソンを通じてとてもお近づきになったお客様も多く、公私共に欠かせないライフワークの一つになりつつあります。

さて今回は世話人の船山様からも次号ご紹介がありますが、勤医協中央病院様をご紹介させていただきます。

新築移転に伴い CT をはじめ、パイプライン ANGIO、DR 装置など多くの装置をご導入頂きました。

5 月 7 日の OPEN より 1 ヶ月程経過しており、柏樹副部长よりお話を伺ってまいりました。

【 お客さま紹介 】

公益社団法人 北海道勤労者医療協会 勤医協中央病院

今回は、38 年間診療を行なった隣接地に新築移転をした勤医協中央病院をご紹介いたします。

1975 年に北海道勤医協のセンター病院として多くの専門医を有する地域の中核病院として発展してきましたが、施設や設備の老朽化がすすみ、時代の変化に対応した救急医療に対応の出来る 450 床の病院としてとして新築移転をされました。

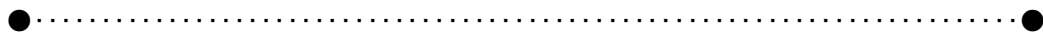
公益社団法人として認可されており、無差別・平等の医療をめざす設立の理念に立ち、無料・低額診療なども行なっています。差額ベット料金を請求していない数少ない病院のひとつでもあります。

・・・続きをご覧頂く場合は、こちらよりご覧ください。

http://enyouser.umin.jp/_src/sc594/kinikyo_cyuo.pdf

■過去の営業マンレポートを閲覧するにはこちらよりご覧ください。

http://enouser.umin.jp/archive01/achive_info.html



(3) CTアプリ紹介

CTアプリケーション担当が増員されました！

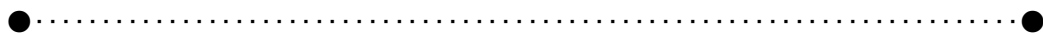
東芝メディカルシステムズ 北海道支社 CTアプリケーション担当しております小山です。

入社後、北海道で10年間勤務しておりますので、CT装置導入のご説明の際にお会いしている先生方も多いかと思えます。

今回 6月より、北海道に新たにCTアプリケーション担当の六車（むぐるま）が増員となりましたので写真付きでご紹介いたします。研究会等で見かけられた際にはぜひお声かけください。

・・・全文をご覧頂く場合は、こちらよりご覧ください。

http://enouser.umin.jp/_src/sc593/self_introduction.pdf



(4) ☆連載 東芝CTアプリからのワンポイントアドバイス Part2☆

日頃頂くCT装置の操作・臨床のご質問の中からピックアップして毎号掲載いたします。

◆分かれてしまったStudyを統合するには？

途中でNext Patientを押してしまい、一人の患者さまが2つのStudyに分かれてしまった場合の一つに統合する方法をご紹介します。

http://enouser.umin.jp/_src/sc591/study_integ.pdf

◆ご存知ですか？ヘルプ機能

コンソール上で簡単に機能を確認できるヘルプ機能をご紹介します。

http://enouser.umin.jp/_src/sc592/help_function.pdf

「～の方法教えて欲しい」「こんな便利な方法あるよ！」などのご意見がございましたら、メール下記にある「お問い合わせ」URLよりご連絡ください。
このコーナーでご紹介させていただく場合がございます。

■過去のアプリからのワンポイントアドバイスを閲覧するにはこちらよりご覧ください。

http://enyouser.umin.jp/archive01/achive_info.html



(5) お知らせ

◆ランチョンセミナー情報

東芝出展展示会・学術セミナーのご案内（北海道）

◇7月20日(土) 第37回北海道ヘリカルCT研究会

<http://hct.umin.jp/>

時間：14:45～18:30（機器展示は14:00～16:30）

場所：札幌コンベンションセンター「中ホール」

東芝展示ブースでは裸眼3Dモニタ・ワークステーションVitreauなどを展示いたします。

東芝出展展示会・学術セミナーのご案内（全国）

◇7月12日(金)第16回日本臨床救急医学会総会・学術集会 教育セミナー

「救命救急領域における80列マルチスライスCTの臨床インパクト」

聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター 松本 純一 先生

◇7月13日(土)第49回日本小児循環器学会総会・学術集会 ランチョンセミナー

「320列面検出器CTを用いた小児循環器領域の画像診断」

岡山大学 医学部 放射線医学教室 佐藤 修平 先生

詳細、その他のイベント情報はこちら

<http://www.toshiba-medical.co.jp/tmd/event/index.html>

◆画論 The Best Image 2013 について

東芝メディカルシステムズは、画像診断技術の発展と医療への貢献を目的として

「画論 ザ・ベストイメージ」を今年も開催いたします。

「画論 ザ・ベストイメージ」は、診断・治療に必要な画像のクオリティはもとよ

り、被検者へのメリット、撮影・処理技術の工夫等、臨床的価値（クリニカルバリュー）を総合的に判断することによる「最良のイメージ」の選定という試みです。

◇応募期間：5月31日（金）～7月16日（火）

◇上位入賞者発表：10月頃

◇表彰式：12月15日（日） 東京国際フォーラム

東芝CT装置をご使用頂いている方ならどなたでもご応募できます。

また、毎年北海道から多くの方が入賞されています。

本年も多くの方々からご応募を頂きますようお願いいたします。

詳しくはこちら

<http://www.toshiba-medical.co.jp/tmd/event/bestimage/2013/index.html>

画論 The Best Image 20年の歩み CT

http://enyouser.umin.jp/_src/sc581/history_of_Garon.pdf

●.....●

(6) 編集後記

6月の初旬、3回目のフルマラソンに参加した。マラソンを始めたきっかけは肥満解消の目的で入会したスポーツクラブで3年前にホノルルマラソンへの無料招待が当たり、ただでハワイに行けるという不純な理由で始めたのである。

42.195km（札幌から小樽までよりも長い？）など走ったこともないし、ハワイ観光を堪能して完走出来なくてもその日に少し走ればいいのか～と最初は思っていたが、こんな経験二度とないだろうから完走だけはしようと思ひ多少なりとも練習をして初マラソン参戦した。

そんな舐めた考えで挑んだ結果は完走（途中かなり歩いてしまった）したものの散々たるタイムであった。

そこそこ体力には自信があったのだが、あまりにも不甲斐ない記録と体力のなさを反省し、その後の継続的にランニングを始めることになった。

さてフルマラソン3回目の今回、昨年も参加した大会でありコースもそれなりに知っており、この一か月の間に2回の30km走もしたし、それなりの準備はしたつもりだったのでレース開始直前までは一緒に参加する仲間や家族の誰よりも早くゴールしたいと思っていた。

しかし本番が始まると思ったほどペースが上がらず、目標を昨年の記録更新に切り替えた。中盤を過ぎても一向にペースが上がらず、逆にタイムがどんどん悪くなり、更に目標を昨年と同じ時間に切り替えた。後半、その記録も困難と判り、最後まで歩

かない、というなんとも最初の意気込みに比べると最後は随分レベルが下がった目標に変える事態になってしまった。

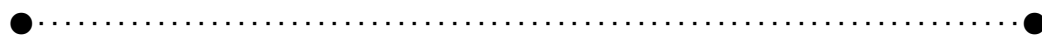
結果、仲間達は昨年のタイムを上回る好タイムでフィニッシュしたのに比べ、私は何とか最後の目標をクリアするので精一杯で終わった。まだまだ精進が足りないと感じた。

レースが終わった後、近郊の銭湯に汗を流しに行ったらたまたま体重計にのったら、なんと！昨年から4kgの体重が増えていた。

あんなに汗をかいたのに、一体走るまえに体重は何kgだったのかと考えると恐ろしくなった。これでは良いタイムが出るはずがない。

何となく気が付いていた体重の増加を真剣に受け止め、真面目にダイエットをすることを決断した。自分を戒めるためにも、勉強会で私を見つけたら「ダイエット頑張っているか！」と声をかけて頂ければ幸いである。

マラソンでの目標が、好タイムからダイエットに変わった S 幌 I 大 T. H



■過去のメルマガを閲覧するにはこちらよりご覧ください。

http://enyouser.umin.jp/archive01/achive_info.html

このメールマガジンは、北海道 CT 遠友 ser 会のホームページから会員登録をされた皆様へ配信しております。もし、お心当たりが無く配信を希望されない場合には、大変お手数ですが下記の配信停止手続きをお願い申し上げます。

ご登録情報の変更は、お手数ですが以下のページより手続きをお願い致します。

■配信停止

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mir-mcpao-5da80dee47fea249f2eef2657cc89444>

■登録情報変更

<https://reg26.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mir-mcpam-9a9db7c7d78cda90ff60704a2ce7d354>

.....
<お問い合わせ>

本メールアドレスは発信専用です。返信いただきましてもご回答は差し上げられません。お問合せやご要望等は以下のページからお願い致します。

http://enyouser.umin.jp/inquiry_faq.html

.....
<個人情報保護方針>

弊社の個人情報保護に関する考え方については、下記のページをご覧ください。

<http://www.toshiba-medical.co.jp/tmd/utility/privacy.html>

編集・発行

- ・北海道 CT 遠友 ser 会
- ・東芝メディカルシステムズ株式会社 北海道支社
担当（お問合せ先）： 森 淳一 ， 前田 芽衣
TEL: 011-785-3131